

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科では、語句の意味を理解し、文中の情報から内容を捉えることができています。 ○算数科では、問題文から正しく立式したり正しい式を選んだりすることができています。 <課題> ▲国語科では自分の考えを説明したり、文章全体の構成を理解したりする問題で課題が見られた。 ▲算数科では、「記述式」の問題の正答率が低く、自分の考えを式や言葉を用いて説明することに課題が見られた。	<成果> ○地域や社会をよくしたいと思う児童の割合が高い。 ○国語や算数科が将来社会に出たときに役に立つと考えながら、学習する児童の割合が高い。 ○学習の中で、自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表している児童の割合が高い。 ○ICT 機器を積極的に活用し、学習を進めることができています。 <課題> ▲話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができると感じている児童の割合が低い。

岡山県学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科では、各学年の漢字の習得ができています。 ○算数科では、「数と計算」の正答率が高く、基本的な四則計算が身に付いている。 <課題> ▲3年生と4年生の国語科では、文全体や段落ごとの内容理解が十分ではなかった。 ▲5年生の国語科では、文から必要な情報を抜き出し、自分の考えを書くことに課題が見られた。 ▲算数科では、図と式を繋げて考える活用問題に課題が見られた。	<成果> ○「将来の夢や目標をもっている」や「人の役に立つ人間になりたい」と考える児童の割合が高い。 ○授業で、振り返りがしっかりと行われている。 ○授業で、自分で考え、自分から取り組んでいる児童が多い。 <課題> ▲英語の学習に苦手意識がある児童の割合が高い。 ▲「自分にはよい所があると思う」と考える児童の割合がやや低い。

改 善 策
学 校 で の 取 組
① 授業や朝の学習、宿題の中で、課題の見られた単元や形式の問題に取り組む。 ② 算数科の学習では、児童の実態を捉え、それに応じた分かりやすい授業づくりができるよう研修を進める。 ③ クロームブックを効果的に活用し、児童が主体的に考え、表現ができるようにする。 ④ 「竹小よい子の1日」をもとに、学習規律の確立を行う。
一貫教育金光学舎での取組
○中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間（「家庭学習がんばりカード」）を実施して、学習習慣・読書習慣の確立を図る。 ○生活習慣強化週間「早ね！早おき！朝ごはん！金光 学力アップ大作戦」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。 ○中学校区学校運営協議会の目指す子ども像「広い視野と思いやりの心をもった、心身共に元気で明るく前向きな子」を設定し、共通理解のもと各教科・領域において連続した取組を実践する。 ○「浅口市立小学校・中学校クロームブック学年別スキル表」を活用し、系統的な指導を各学年で行う。
家庭・地域へのお願い

- メディアに触れる時間を定め、毎日守ることができるようにお願いします。
- 「家庭学習がんばり週間」を活用し、計画的な家庭学習の仕方についてアドバイスや励ましをお願いします。
- 家族間の挨拶や和やかな会話を増やし、学校であった話を聞くことや頑張りを認める声掛けをお願いします。